

授業科目名	おもちゃと絵本Ⅱ	教員名	藤田 篤	免許・資格との関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授業形態	講義	担当形態	単独		保育士	
					キッズトイ2級	必修
科目番号	KOD102	配当年次	1年前期	卒業要件	小幼コース	
単位数	1単位				幼保コース	
科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等						
一般目標	基本的な信頼関係のもとに形成される2・3歳の子どもの発達課題である自律性を理解し、発達課題を達成するために必要とされる、おもちゃ、絵本の導入意義を理解し、使用方法を修得する。					
到達目標	2・3歳の子どもの発達課題である自律性を獲得するために、おもちゃと絵本を提供する目的と意義を修得し、子どもの発達状況に応じたおもちゃ・絵本の提供が可能となる。保育現場において、子どもの発達段階にあったおもちゃと絵本を提供する目的と意義を説明できるようになる。					
授業の概要	E.H.エリクソンのライフサイクル理論およびロバート・エムディーの児童精神医学理論に基づき2・3歳の発達課題である自律性や感受性の形成プロセスを学ぶ。保育者の眼差しを感じながら、種々のおもちゃを自ら選び、考え、楽しく遂行できるようになるための具体的内容を理解する。その上でおもちゃ・絵本が子どもたちの創造力、意欲、社会性等の非認知能力を育むことを学ぶ。双方向授業としてシェア&ワークの手法を取り入れる。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げられている「専門職に求められる知識と能力」として、保育活動の実践に不可欠なおもちゃと絵本の専門知識を身に着ける科目として配置している。					
授業計画	<p>第1回:オリエンテーション:①授業全体像の説明。授業目標及び本授業の到達目標を確認する。②発達課題:E.H.エリクソンのライフサイクル理論およびロバート・エムディーの児童精神医学理論を学び、発達の特性を学ぶ。発達理論に基づき、おもちゃや絵本を通して自律性、自己決定する力をいかに育てていくかを学ぶ。</p> <p>第2回:絵本を通してそこに投影される子どもの心を育てる意義を学ぶ。子どもの育ちを促す絵本の特徴を理解し、絵本の読み方を修得する。絵本とおもちゃが子どもの発達に与える意義について学ぶ。</p> <p>第3回:知育玩具である積木の歴史的背景をヨーロッパの幼児教育から学ぶ。海外の幼児教育の実践事例を通して、積木遊びが子どもの発達に必要な理由、積木遊びには五つの段階が存在すること、子どもの興味・関心を高める積木の条件及び積木の提示方法について学ぶ。</p> <p>第4回:人形を使ったごっこ遊びの意義を学ぶ。子どもの遊びや発達を促す人形として、どのような条件が必要であるのか、また、人形遊びを通じた情緒的な交流や見立て遊びが、人格形成の基礎を培っていくためなぜ必要であるのか、子どもの発達に影響する遊びの道具の条件について学ぶ。</p> <p>第5回:各種おもちゃの特長が発達のいかなる点に影響を及ぼすのかを学ぶ。特に、落ちるおもちゃが、追視や始点・終点の理解、予期的追視等に繋がっていることを理解すること、さらに、手指や腕の発達、認知発達において、叩くおもちゃが子どもの発達を促す仕組みを理解し、2歳児の発達課題である自律性を種々の遊びを通して、達成していく方法を学ぶ。</p> <p>第6回:4歳までに体験させたい遊びとして他児との協同遊び、構成遊び、ルール遊びが持つ発達の意義について学ぶ。特に、ルールを自由につなぎ、分岐点などを設置して遊ぶ汽車遊び、4人程度で遊ぶドイ</p>					

	<p>ツゲーム、玉の道のおもちゃ、ブロックと積木の関係などを理解し、それらが育てるものと、提示方法を学ぶ。</p> <p>第7回:2・3歳の発達課題や子どもの状況に応じたおもちゃ・絵本の選び方・導入方法について、おもちゃと絵本を各自選定し、プレゼンテーションする。</p> <p>第8回:2・3歳の子どもの発達課題である自律性を獲得するために、おもちゃと絵本を提供する目的と意義を確認し、子どもの発達段階にあったおもちゃと絵本を提供する事を通して、非認知能力を育てるということについての総まとめを行う。</p>
学生に対する評価	筆記試験(50%)、プレゼンテーション(40%)、小テスト(10%)にて評価する。
時間外の学習について	<p>予習:授業終了時に示した内容を事前に学習しておく(1時間程度)</p> <p>復習:授業ノート・テキスト該当部分を授業終了後に読み、理解を深める(1時間程度)</p>
テキスト	<p>①『子育てを感動にするおもちゃと絵本』藤田篤著, ゆいぼおと</p> <p>②『子どもの心が見える本』佐々木正美著、子育て協会</p> <p>その他、資料を配付する。</p>
参考書・参考資料等	適宜案内する。
担当者からのメッセージ	保育における基本的ツールともいえる、絵本、おもちゃについて関心のある方、基本的知識とスキルを身に付けておきたい方の受講をお待ちしています。
オフィスアワー	授業終了後に随時行う。